

事業所における自己評価の結果（公表）

公表：令和3年12月

事業所名：多機能型事業所やすらぎ 児童発達支援

	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・利用者定員と部屋のスペースは適切だと思う
②	職員の配置数は適切である	6		・今後調整が必要になると思われる
③	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		・部屋内は、利用児にとって過ごしやすい環境になっていると思う
④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・子どもが活動しやすい部屋の構造になっていると思います
⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		・職員全員が参加しているが、個人個人の研鑽は今後も必要であると考えている
⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている	6		・アンケート結果を踏まえ、事業所を運営するにあたって保護者の意向を最優先に考えていると思います
⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・集計結果をセンターのホームページに公開しています
⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6		・監査で指導された内容を、業務改善に活かしています
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・センター内の研修含め、随時参加することが出来ていると思います
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・日頃の子どもの様子からアセスメントを職員全員で丁寧に行うことを心掛けています

⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		・アセスメントツールを参考にしています
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		・ガイドラインが示す支援内容から必要項目を選択していると思います
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・支援計画に沿った支援を心がけています
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・職員で話し合いながら、計画しています
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・固定化しないように職員とその都度話をするようにしています
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		・集団で遊ぶ活動は充実してきているが、その中で個別支援計画に沿った個別対応を丁寧に積み重ねていくことが大切であると思います
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・朝のミーティングで打ち合わせをする時間を設けています
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・支援の振り返りをするまとまった時間はとれていないが、その都度職員間で気づいたことを共有するよう努めています
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・記録は丁寧に言い、ファイリングをしています
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		・定期的にモニタリングを行っています
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・最も精通している職員を選定し、参加しています
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		・利用児さんとご家族と一緒に支えている機関と状況に応じて連絡を取り合っています
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		・各関係機関と随時連携をとるようにしています
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や	6		・やすらぎを利用する際には、医療機関から情報提供書をもったり、状況に応じて連絡をとるようにしています

	協力医療機関等と連絡体制を整えている			
②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・情報共有が必要な場合は必ず行うようにしています
②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・情報共有が必要な場合は行うように努めています
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		・利用児さんが利用している支援センター等の専門機関と担当者会議を通して連携をしています
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6		・以前は交流の機会があったが、今年度はコロナウイルスを含めた感染症の影響で交流が難しかった
②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6		・職員が子ども部会に所属しており、会議には積極的に参加している
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・お出迎えやお見送りの際に日頃の様子を伝え、子どもさんの現状について共有するよう努めています ・できたことや成長したことを一緒に喜べる関係性を大切にしています
③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	1	・保護者様の思いを大切に、誠実に気持ちに寄り添える関係性を大切にしています
③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・重要事項説明書や利用契約書を通して、丁寧に説明することに努めています
③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・支援計画の説明を半年ごとに行い、内容の同意を得て、支援を行っています
③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・保護者様からの相談に誠実に対応できるように努めています ・子育て支援が出来るよう職員全員の研鑽が必要ではないかと感じる
③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		・年に1～2回保護者同士で顔を合わせる機会を設けています

③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・悩みを聞いた際には、すぐに対応するように努めている
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・LINEを活用して、日頃のやすらぎの様子を定期的に発信するようにしています
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6		・取り扱いには十分に注意している
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・子どもさんと意思疎通を図る際には、表情や体の動き等から気持ちを推測するよう心がけている
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		・今年度はコロナを含む感染症の影響から地域との交流が難しかった
④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		・マニュアルの策定は各種行っています
④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		・月1回の避難訓練を実施している
④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		・子どもさんの服薬や発作の状況については、保護者様からの情報を大切に確認している
④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		・医師の指示書のもとアレルギーへの対応を行っています
④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・インシデントレポートを作成し、職員間で共有している
④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・虐待防止の研修に参加しています
④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		・身体拘束を行うような利用児さんがいない

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年12月

事業所名：多機能型事業所 やすらぎ 児童発達

利用者数：12名、回答数：12名、割合：100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	0	0	
②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	0	0	
③	生活空間は本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	0	0	
④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	0	0	
⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12	0	0	
⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	0	
⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1	0	
⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	1	0	

⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	1	
⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	0	0	
⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	0	0	
⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	1	1	
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	1	0	
⑭	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	1	
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	3	
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	2	0	
⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達するための配慮がなされているか	12	0	0	
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	1	1	
⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10	0	0	

⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また発生を想定した訓練が実施されているか	8	0	0	
㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	5	1	0	
㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	11	0	0	とても楽しく通所させていただいています
㉓	事業所の支援に満足しているか	12	0	0	